

No. 1089

明日を築く青年の集い

新しい地域社会づくりを目指し全国から300人の若者が集まって開かれた明日を築く青年の集い第10回全国大会。地域で職場で、今青年がどんな問題を抱え、どうぶつかっているのか彼等はそれぞれ報告しあい解決の道を模索する。11月21日、この全国大会を皇太子殿下御夫妻が視察された。

「地域に根ざした仲間づくりのために」というテーマが話し合う分科会での若者達の討論に耳を傾けられる両殿下。若者をとりまく不安な社会について熱心に語りあう若者達。そのあと両殿下の希望で参加した若者達と意見交換。それぞれの地域へ戻り彼等は明日に向かって活動していくことでしょう。

田中首相退陣

訪日中のフォード米大統領はせわしい日程に追われながら、11月20日、東京・日本武道館で開かれた「歓迎スポーツ大会」に出席、くつろがれた姿で日本古来の「剣道」「柔道」などの伝統武道を観覧された。

翌21日、晩秋から初冬へと衣替えを急ぐ京都・金閣寺を訪問。コロンブスがアメリカ大陸を発見する百年も昔に金閣に代表される室町文化は栄えていたと村上慈海住職が説明。日本の伝統に満ちた京都のたたずまいは、間もなく建国二百年を迎える若い大国の指導者の心をいっそう強くとらえたようだ。11月22日、びっしりつまった公式日程の行事をあわただしく、精力的に消化したフォード大統領は帰国の途に。そして大統領の離日を待つかのように日本の政局は大きく動きはじめた。

11月26日早朝、田中首相は椎名副総裁ら党首脳を首相官邸に招き、首相及び自民党総裁を辞任する旨、口頭で伝えた。首相の「辞任表明文」を代読する竹下官房長官。『私は、内閣総理大臣および自由民主党総裁を辞任する決意をいたしました。政権を担当して以来、日本の平和と安全、国民生活の安定と向上のため全力投球を続けてまいりました、しかるところ、最近における政局の混迷が少なからず私個人にかかわる問題に端を発していることについて、私は国政の最高責任者として、政治的、道義的責任を痛感しております……』同声明文は自民党議員総会でも二階堂幹事長によって発表された。

田中首相退陣を受けて始まったポスト田中争い、戦後政治史上まれに見る混迷の政局、国民不在の政治はいつまで続くのか。